

# 吉田金属工業 株式会社

## DX宣言書

2026年7月31日  
吉田金属工業 株式会社  
代表取締役社長 渡邊 正人

### □ 経営理念

世界のキッチンと食卓に幸福(しあわせ)を

私たちは、モノづくりを通じて世界の食卓に笑顔と団らんを提供するために一つ一つの仕事に真心を込め、全ての人の幸福(しあわせ)を追求し、明るく、笑顔で、努力し続けます。

### □ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 中期経営計画(ビジョン2027-2028)に基づき、ものづくりの現場と管理部門をデジタルで繋ぎ、部門毎に蓄積された情報を全社で活用できる環境を構築します
- ◆ 業務の標準化とデジタル活用により属人化を解消し、誰もが働きやすく成長できる職場環境を実現します

### □ DX戦略・施策

#### ➤ フェーズ1(現在 ～ 2027年3月)

戦略 「全体最適に向けたDX推進基盤の構築」

- 施策
- ・ 全体最適なDX推進に向けて、各部門の業務フロー・システム・データの現状を可視化
  - ・ システムの重複やデータ連携の課題を整理するため、導入済みシステムの役割を整理
  - ・ 今後のシステム導入・更新方針を明確にするため、全社システム構想(ロードマップ)を策定
  - ・ 在庫管理の精度向上に向けて、資材と消耗品の使用量・仕掛品・完成品在庫の見える化を推進
  - ・ AIを安全かつ効果的に活用するため、利用ルール・ガイドラインを整備
  - ・ 全社でDXを推進するため、デジタルリテラシー向上に向けた教育・研修を実施

#### ➤ フェーズ2(2027年4月 ～ 2028年3月)

戦略 「データ連携による業務プロセス改革の推進」

- 施策
- ・ 部門間で情報を共有できるよう、受注・生産・在庫・会計データの連携を推進
  - ・ 業務効率化のため、請求書処理や申請・承認業務のデジタル化を推進
  - ・ 二重入力や紙業務を削減するため、システム連携やAI-OCR等を活用
  - ・ AIを活用した品質分析や検査業務の高度化を推進
  - ・ 商品企画・営業・製造・品質・生産管理のデータを蓄積するナレッジ基盤を構築し、AI活用によりRAG化からエージェント化に進化させ、商品開発スピードを向上
  - ・ CRM・マーケティングデータを統合し、AIを活用した顧客分析および販促戦略策定の高度化を推進

#### ➤ フェーズ3(2028年4月 ～ 2028年12月)

戦略 「データ活用による経営高度化と継続的改善」

- 施策
- ・ 経営判断の迅速化に向けて、経営データをリアルタイムに把握できる環境を構築
  - ・ 生産データを活用し、生産性向上・品質改善に向けた継続的な改善活動を推進
  - ・ 収益力向上に向けて、製造現場と連携したデータに基づく原価差異分析を実施
  - ・ 属人化を解消するため、業務手順やナレッジの標準化・共有を推進
  - ・ 技術・ノウハウを継承するため、デジタル技術を活用した教育・育成を推進
  - ・ DXの成果をKPI・KGIで継続評価することにより、PDCAサイクルを定着化

### □ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長が中期経営計画に基づくDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ 中期経営計画推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

### □ DX推進目標

- ・ 労働生産性増加率 : 2025年度比 5%増加(～2028年12月)
- ・ (アイテム限定)原価差異率 : ±5%以内(～2028年12月)
- ・ 売上総利益率 : 2025年度比 3%以上改善(～2028年12月)